

大阪府学校部活動・地域クラブ活動指導者人材バンク【ええコーチOSAKA】の登録状況について (令和7年6月18日現在)

【ええコーチOSAKA】について

- 学校部活動や市町村の地域クラブと指導を希望する方とを円滑にマッチングするため、令和7年1月に開設。
- 名称である【ええコーチOSAKA】は、令和6年11月に公募し、応募総数842件の中から選定。
- 【ええコーチOSAKA】内に指導者向けの研修動画を搭載し、登録希望者に視聴を義務づけることで、指導者の質の保障を担保する仕組みを構築。
- 【ええコーチOSAKA】と連動した専用ポータルサイト「大阪府部活動改革プラットフォーム」を開設し、府の方針や府内の取組みを一元的に発信しつつ、自治体内の複数校への対応及び体験型イベント等の開催のための指導者派遣に協力いただける企業や大学等の情報を順次紹介するコンテンツを搭載。

【ええコーチOSAKA】の指導者の登録内容

- 指導できる種目（運動系90、文化系53から選択、複数選択可）
- 指導できる地域（市区町村から選択、複数選択可）
- 名前、性別、職業、生年月、住所、携帯電話番号、メールアドレス

【ええコーチOSAKA】の府立学校・市町村等の募集内容

<基本情報>

- 学校、チーム名、指導対象、種目（運動系90、文化系53、男女区分から選択）、募集人数、勤務地（市区町村から選択）、勤務時間（各曜日の午前・午後を選択、補足欄有）

<希望条件>

- 性別、年齢、資格に関する希望（自由記述）、求める人材（自由記述）、給与、報酬（自由記述）、備考

大阪府学校部活動・地域クラブ活動指導者人材バンク『ええコーチOSAKA』



会員はこちらから

大阪府では、学校部活動や地域クラブで子どもたちの指導やサポートをしてくださる人材を募集しています。あなたの知識や経験を生かして、子どもたちの笑顔輝く場所と一緒につくってくださいませんか。

【利用の流れ(例)】



『大阪府部活動改革プラットフォーム』（本システムと連動した専用ポータルサイトを同時に開設）

【搭載コンテンツ】



学校部活動・部活動指導員および地域クラブ活動の指導者向け動画教材について

【共通】(概算：計76分)

No.	教材名	時間(分)
①	生徒の発達段階に応じた科学的な指導	7:40
②	部活動を担当する教員等との情報共有	3:57
③	安全・障害予防に関する知識・技能の指導	5:41
④	学校での活動(大会・練習会等)の引率	3:55
⑤	事故が発生した場合の現場対応	5:34
⑥	配慮をする生徒などの対応	5:42
⑦	生徒指導による対応	6:34
⑧	保護者等への対応	5:12
⑨	コーチアイコン(スマートフォン)について	14:00
⑩	部活動等の指導に生かすカウンセリングマインド	12:09
⑪	コーチング	5:42

【選択：部活動指導員向け】(概算：計35分)

No.	教材名	時間(分)
⑪	部活動指導員制度の概要	4:26
⑫	学校教育及び学習指導要領	6:59
⑬	部活動の意義及び位置付け	10:59
⑭	服務について(従事・監督をめざすこと、規則・規範行為の禁止等)	6:01
⑮	部活動の管理運営(会計管理等)	6:17

【選択：地域クラブ活動指導者向け】(概算：計16分)

No.	教材名	時間(分)
①	地域クラブ活動の意義及び位置付け	4:35
②	地域クラブ活動の管理運営(会計管理等)	6:08
③	教職員における兼職兼業について	5:11

【教材視聴時間(概算)】

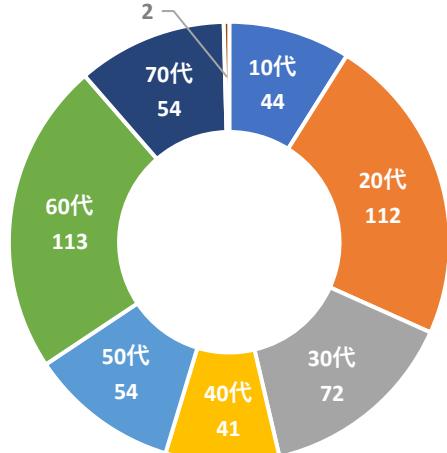
- 部活動指導員の登録を希望する場合： 共通76分 + 選択35分 = 合計111分 (16動画)
- 地域クラブ活動指導者の登録を希望する場合： 共通76分 + 選択16分 = 合計 92 分 (14動画)

* 地域クラブ活動指導者においては、指導者を募集する団体等が別途公認スポーツ指導者資格等の有無を求める場合あり
※ 大阪府学校部活動・地域クラブ活動指導者人材バンク【ええコーチOSAKA】に指導者登録をする際、「部活動指導員」と「地域クラブ活動指導者」の区別を選ぶことはありませんが、登録を希望される区分によって教材を選択して視聴してください。

大阪府学校部活動・地域クラブ活動指導者人材バンク【ええコーチOSAKA】の登録状況について (令和7年6月18日現在)

【登録者数及び年齢構成】

- 昨年度同時期と比較して156名増加。
- 10代、30代が大幅に増加。



年齢	人数	(昨年度)	割合
10代	44	(3)	9%
20代	112	(89)	23%
30代	72	(36)	15%
40代	41	(21)	8%
50代	54	(33)	11%
60代	113	(106)	23%
70代	54	(48)	11%
不明	2	(-)	-
合計	492	(336)	

【指導可能種目（運動部・文化部）】

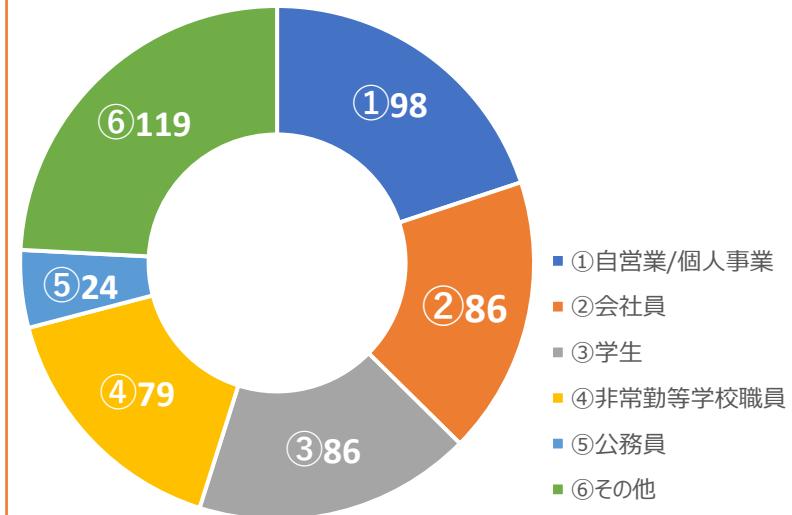
- 登録者の約7割が運動部となっている。
- 人材の少なさや種目の偏りは引き続き課題である。

【運動部】					
No.	種目	人	No.	種目	人
①	アーチェリー	1	⑯	ダンス	21
②	アメリカンフットボール	2	⑯	日本拳法	1
③	空手	3	⑰	バスケットボール	49
④	器械体操	4	⑱	バドミントン	23
⑤	弓道	3	⑲	バレーボール	52
⑥	剣道	17	⑳	ハンドボール	17
⑦	硬式テニス	20	㉑	ホッケー	1
⑧	サッカー	33	㉒	野球（軟式・硬式）	47
⑨	柔道	5	㉓	ラグビー	2
⑩	少林寺拳法	3	㉔	陸上競技	31
㉑	水泳競技	12	㉕	レスリング	1
㉒	ソフトテニス	28	㉖	ローリング	1
㉓	ソフトボール	30	㉗	その他	35
㉔	卓球	13			

種別	人数（昨年度）
運動部	455 (270)
文化部	183 (66)
合計	638 (336)

【登録者の職種】

- 会社員、学生、公務員が増加。
- 昨年度までは元教員や非常勤等学校職員が約半数を占めていたが、さまざまな職種からの登録となっている。



職業等	人数	(昨年度)	%
①自営業/個人事業	98	(-)	20%
②会社員	86	(52)	17%
③学生	86	(33)	17%
④非常勤等学校職員	79	(59)	16%
⑤公務員	24	(1)	5%
⑥その他	119	(82)	24%
(参考) 元教員	-	(90)	-
(参考) 地域スポーツクラブ	-	(19)	-